

ASAAGO

概要版

朝来市経済成長戦略

【前期】平成 26 年度→平成 30 年度

【後期】平成 31 年度→平成 35 年度

2023

2019

進化・挑戦する メイド・イン・朝

朝来市経済成長戦略（後期）は
前期 5 年間の経済状況や施策の評価を踏まえ
本市の地域特性を活かし、事業者の生の声を聞き
直面するその問題の解決と時流に応じた経済成長を
戦略的に成し遂げるための
方向性を示すものとして策定しました。

【戦略の位置づけ】

朝来市経済成長戦略は、朝来市総合計画の産業部門及び市の経済成長に関連する横断的な分野にける具体的な施策を実施するための指針となるものです。

【計画期間】

計画の期間は、平成 26 年度から平成 35 年度までの 10 年間とします。また、中間年である平成 30 年度に見直しを行い、前期 5 年間の状況や評価等をふまえ、後期の施策や立案を図ります

2014

平成 31 年 3 月
朝来市

朝来市を取り巻く状況

わが国の経済を取り巻く環境の変化

1. 人口減少と産業構造を支える人口構造の変化
 - ◆ 今後も年少人口、生産年齢人口の減少が進み、産業を支える人口構造が大きく変化
 - ◆ 人口減少に伴う就業者不足や人材の確保が焦点、企業の競争力の低下などが懸念される
2. わが国産業の強みを活かした展開へ
 - ◆ 経済活動のグローバル化が進展する中、地球規模での資本や技術の移転が進む
 - ◆ AIなどの活用により一層各産業が連携して社会・経済の変化に対応する取り組みが求められる
3. 価値観の多様化と新たな需要構造への対応
 - ◆ 社会の成熟化が進み、物質的な充足感が高まり、質の高い豊かな暮らしを求める傾向が強くなる
 - ◆ 健康、医療を始めとした社会再生に関わる分野で新たな需要創造と産業化への取り組みが求められる

朝来市の経済成長に影響を与える要因(統計データ、事業所調査等)

1. 人口減少の速度が前期計画を上回る【統計データ】
2. 製造品出荷額は2年連続で増加、粗付加価値額の割合も上昇【統計データ】
3. 観光業は観光入込客数が大きく増加も、平成27年度以降は減少傾向【統計データ】
4. 平成26年の市内生産額は増加も粗付加価値額、雇用者所得、営業余剰は減少、域際収支は赤字幅が拡大【産業連関表】
5. 前回調査(平成25年)との比較では売上高、販売・受注量は減少、販売・受注単価は横ばい。また、経営上の最大の問題点は「人材不足・人材育成」と「販路開拓」【事業所調査】

3つの課題と課題を構成する主な原因の把握

雇用

●課題	若い労働力が確保出来ない	労働環境の改善	即戦力が確保できない市場ニーズへの対応
●原因	<ul style="list-style-type: none"> ・地域企業に関心がない ・都市部への憧れ ・職種がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と生活の両立が困難 ・余暇の楽しみ方がわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・即戦力が不足 ・多様化するニーズへの対応が困難

事業経営

●課題	売上(生産)の鈍化	顧客の減少	事業継続が困難	起業に対する不安
●原因	<ul style="list-style-type: none"> ・販路が乏しい ・生産力の不足 ・多様化するニーズの把握が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・大手小売店との顧客争奪 ・市内の仕事が減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者不足 ・事業主の高齢化 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業に関する知識不足 ・運営資金の確保

地域資源

●課題	観光消費額の減少	農業の担い手不足
●原因	<ul style="list-style-type: none"> ・周遊できる仕組みが不完全 ・受入れ体制が不完全 ・土産物等が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の高齢化 ・低い農業収入

経済成長戦略の方向性と戦略の体系

進化・挑戦する メイド・イン・朝来

恵まれた自然環境と、交通の要衝としての立地環境のもと、朝来市では戦前から酒造等の食品や家具製造、鉱業などが営まれるとともに、戦後から現在に至っては金属加工業をはじめ多様な産業が集積し、個性的なものづくりのまちとして発展してきました。

また、本市は「2018年版住みたい田舎ベストランキング」で近畿エリア総合1位を獲得、これは京阪神などからの交通利便性の良さや日常生活環境の良さ、竹田城跡をはじめとする自然の豊かさなどに加えて、市を挙げて人口減少社会に立ち向う積極的な移住定住施策に対して評価されたものと考えられます。

これからの経済成長をめざすためには、こうした朝来の強みを活かすとともに、時流に応じて進化と挑戦を繰り返しながら、全市的な取り組みによって自律的な経済発展を遂げる必要があります。

そこで、本経済成長戦略のテーマを前期計画に引き続き「進化・挑戦する メイド・イン・朝来」とし、総合計画に掲げる「好きなまちで働く」意識を市内で働く方々に持っていただくためのまちづくりを戦略的に進めます。

戦略の視点

(1) 人材の確保

人口減少、少子高齢化が進む中、市内企業における人材不足、人材育成が喫緊の課題となっています。市内における雇用の推進と人材の定着を促進するため、企業と求職者との橋渡しやUIJターン者への就業支援、学生への企業紹介、女性やシニア、外国人などの多様な人材の雇用支援、また、若手経営者や後継者などの人材育成支援などに取り組みます。

(2) 企業の誘致と成長支援

若者の市外への流出による人口減少への歯止めや市内経済の活性化を図るため、企業誘致に向けた取り組みを引き続き進めます。

また、市内企業についても、販路の開拓や生産力の確保、事業の承継などの相談事業に加え、設備投資や事業資金などの財政支援に取り組み市内経済の活性化へと繋がります。

(3) 起業等促進

市内経済の活性化のためには、女性や若者の起業を促進することが重要です。起業相談窓口を充実するとともに、前期計画から取り組んでいる市内の空き家、空き店舗を活用した「にぎわい創出事業」等の充実をめざします。

また、本市の玄関口である和田山駅前を重点地区に指定し、にぎわいの創出に取り組みます。

(4) 地域資源の活用

産業連関表では本市の域際収支はマイナスとなっており、外貨を獲得するための地域資源の活用が重要となっています。

前期計画での地域資源の活用をさらに発展させ、新たな価値を生み出し、成長の可能性の高い産業へと発展させていくための取り組みを推進します。農業においては、岩津ねぎをはじめとした農産物の開発や生産へのさらなる取り組み、観光においては竹田城跡のみに頼らない観光関連産業の活性化に取り組みます。

進化・挑戦する メイド・イン・朝来

成長戦略の視点

人材の確保

(雇用の確保と人材定着の促進)

企業の誘致と成長支援

(企業誘致と市内経済の活性化)

起業等促進

(起業促進とにぎわいの創出)

地域資源の活用

(外貨獲得のための地域資源の活用)

3つの重点戦略と9つのプロジェクト

重点戦略1 朝来市で働く

若者に朝来市の産業や仕事を知ってもらい、いつかは朝来市で働きたいという気持ちを醸成させることでUIJターンの促進を図ります。

また、子育て世代の女性がイキイキと安心して働ける環境整備や外国人、高齢者等の多様な人材が経済活動できる仕組みづくりとテレワークやクラウドソーシング、副業・兼業など多様な働き方を拡大させるための支援を検討します。

【プロジェクト1 若者へ魅力発信プロジェクト】

- キャリアアークカフェ※の実施
- しごとゼミの実施
- 公立福知山大学等との連携によるUIJターン促進事業(3市連携)
- 企業求人情報発信に関する支援
- ジョブサポあさごによる就職支援
- トライやるウィークの実施

【プロジェクト2 生活応援プロジェクト】

- 奨学金奨励事業所への支援
- 定住促進住宅の斡旋等による住環境支援
- 多様な働き方に関する研究及び支援策の検討
- 企業間交流の推進や企業従業員の婚活支援 など

【プロジェクト3 みんなが働くプロジェクト】

- 外国人の就労環境を支援するための日本語教室の開催
- 女性や高齢者等の働き方に合わせた就労環境づくりの支援
- 女性の社会参加に向けた子育て世代への意識改革セミナーの開催 など

※キャリアアークカフェ: 高校生に地元企業を知ってもらい、そしてそこで働く人の話を聞き、生徒たちの見聞を広めることを目的としたイベント。

重点戦略2 朝来市で稼ぐ

本市の製造業は 139 億円の黒字で地域経済を牽引する産業であり、特性であり強みです。製造業等の地域経済を牽引する事業者の新規投資等に対する支援を行うとともに、卸・小売業や次世代の担い手不足に悩む小規模零細事業所が朝来市で事業を継続できるための支援、新たな一歩を踏み出し挑戦する起業者を伴走型で支援します。

【プロジェクト4 エコミックガーデニング推進プロジェクト】

- 生産性向上に資する設備投資支援
- 企業立地奨励金等による設備投資等の支援
- 雇用促進奨励金による従業員確保支援
- 新たな産業団地の在り方に関する検討
- 販路開拓に向けた見本市等出店支援補助金や相談業務による支援 など

【プロジェクト5 市内消費喚起プロジェクト】

- 消費増税等の消費の冷え込みに対する消費押し上げ施策の検討
- ネット販売等へのアドバイスやキャッシュレス化対応に関する検討及び支援の検討
- 市内中小企業・小規模事業者の受注拡大に向けた取り組みなど

【プロジェクト6 事業継続化プロジェクト】

- 事業継続に向けた商工会、金融機関等との情報共有と連携支援

【プロジェクト7 創業支援プロジェクト】

- あさご元気産業創生センターによる起業相談
- 創業支援事業計画に基づく創業塾の開催
- にぎわい創出事業による創業支援
- 和田山駅前活性化事業による新規出店支援 など

重点戦略3 朝来市を活かす

本市では「竹田城跡・生野銀山・岩津ねぎ」を「ふるさと名物」として応援宣言し、事業者の商品開発等を支援しています。

岩津ねぎ等の農産物は、作る農業から儲ける農業へ、史跡・竹田城跡や生野銀山を始めとする近代化産業遺産群は、それぞれ線としてつなげ、さらには面として他の産業と結びつけることにより外貨を獲得し市内経済の循環を促進します。

【プロジェクト8 観光地経営プロジェクト】

- 朝来市版DMOによる観光資源の発掘と魅力の創出、誘客の推進
- にぎわい創出事業等による観光関連産業の新規出店支援
- 世界への情報発信や多言語ガイドツールの整備
- クレジットカード決済端末等の導入の検討を含む観光客へのサービス向上の支援
- 岩津ねぎ等のブランド化やお土産等の開発支援 など

【プロジェクト9 儲ける農業プロジェクト】

- 岩津ねぎ等のブランド化、6次産業化に向けた取組みの推進
- 広域、全量、共同出荷体制等流通システムの構築
- GAP※・HACCP※認証取得による競争力の確保
- 新技術導入への支援
- 小規模・高齢生産者の集荷支援の取組み
- 農業の担い手の確保と育成 など

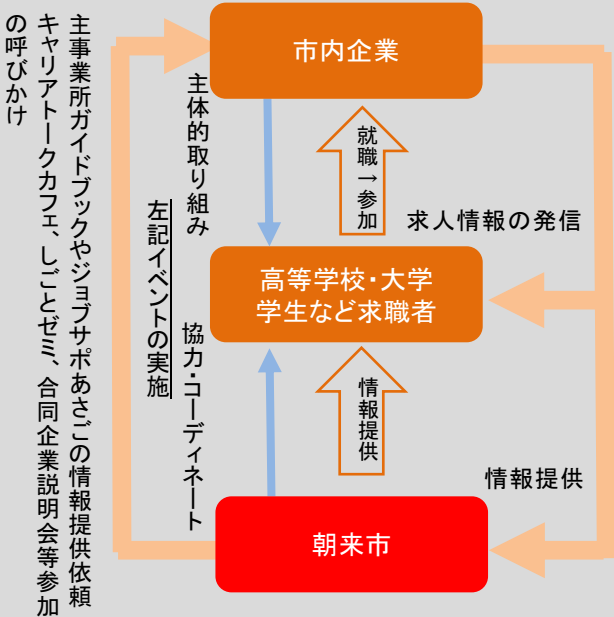
※GAP:「品質」「安全性」「環境への配慮」などの一定基準を満たした農作物に認められる規格。「適正農業規範」とも呼ばれる。

※HACCP: 食品を製造する際に工程上の危害を起す要因(ハザード; Hazard)を分析しそれを最も効率よく管理できる部分(CCP: 必須管理点)を連続的に管理して安全を確保する管理手法。

各プロジェクトの施策体系図

プロジェクト1

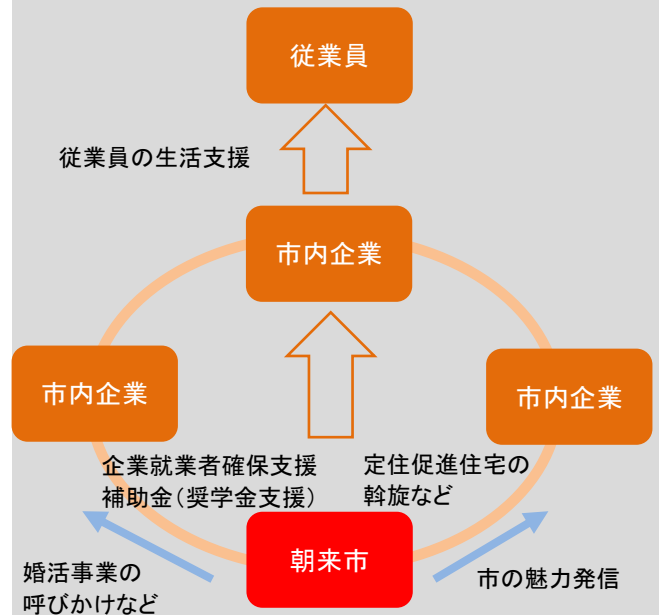
若者へ魅力発信プロジェクト



市内企業の魅力や就業支援制度等を情報発信し、UIターンによる雇用の促進を図るため、小学生の校外学習、中学生のトライやるウィーク※、高校生のしごとゼミ※等を実施するとともに大学等との連携やジョブサポあさごによる雇用のマッチング等により若い労働力の確保を図ります。

プロジェクト2

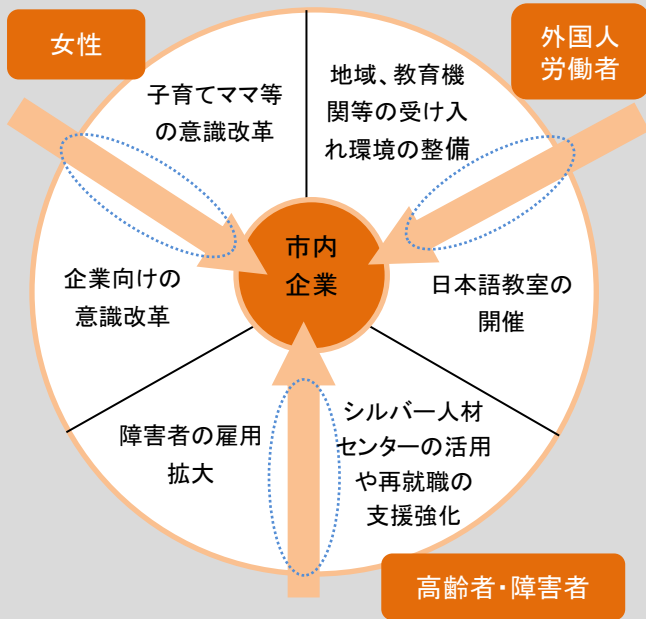
生活応援プロジェクト



市内の企業に就労した若者の経済負担の軽減や従業員の住環境の向上、休日の過ごし方について市内の魅力発信や、多様な働き方についての研究を進め、働く人が朝来市に住み働きがいを感じる職場づくりを支援します。

プロジェクト3

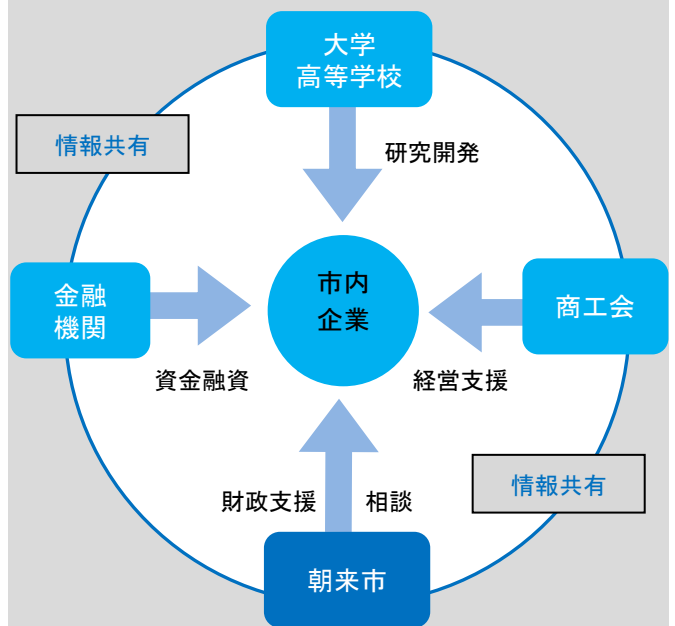
みんなが働くプロジェクト



子育て世代や高齢者等の雇用を促進するにあたり、短時間勤務を希望する求職者と、そのような働き方を受け入れる事業者のニーズを把握し、多様な人材がイキイキと働ける環境づくりに取り組む事業者を支援します。また、外国人労働者についても地域の一員として受け入れ環境を整える必要もあり、地域や事業所と一体になった仕組みづくりに努めます。

プロジェクト4

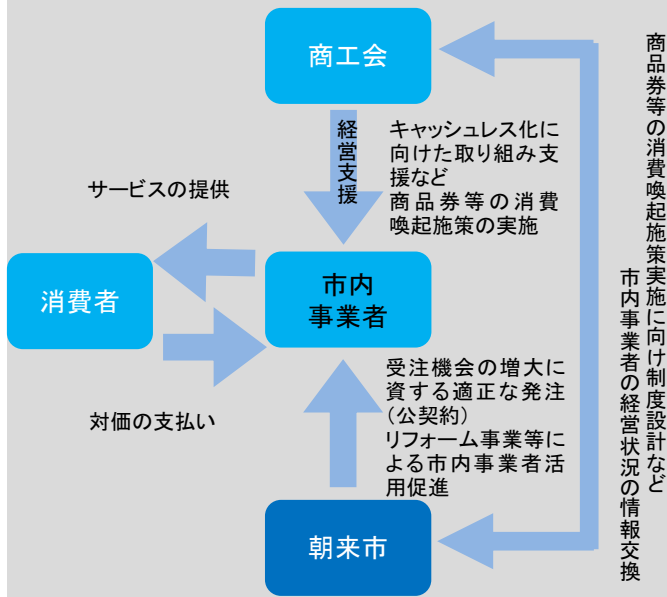
エコノミックガーデニング推進プロジェクト



国・県とタイアップし、地域未来投資促進法や生産性向上特別措置法に基づく税制支援や市の奨励金等により、本市の地域経済を牽引する事業者やAI、IoTの導入により先進性を有する事業者への設備投資等を支援するとともに、近隣の工業会やものづくり支援センターとの連携により技術開発に取り組む市内企業を支援します。

プロジェクト5

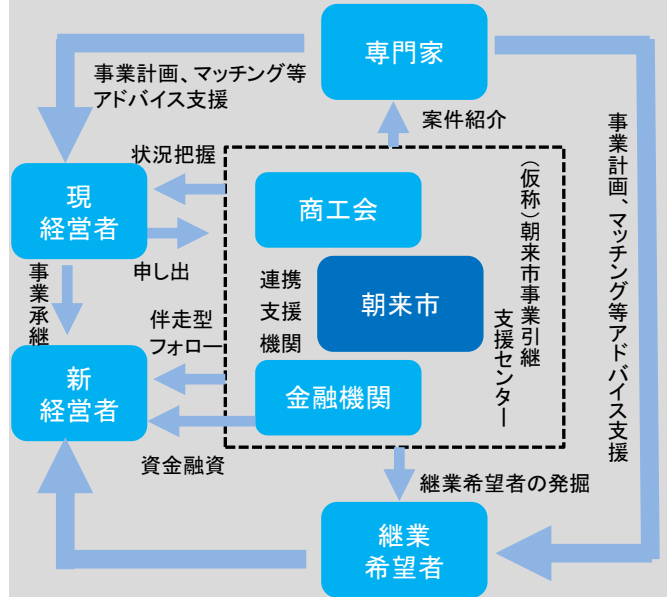
市内消費喚起プロジェクト



消費増税後の消費の冷え込みに対して、市内消費を喚起させる取り組みを推進するとともに、ネット販売やキャッシュレスといった買い物の変化に対応するための支援策の検討や官公需について、市内中小企業・小規模事業者の受注機会の増大を図るため、契約の合理性、公平性を判断したうえで分離発注等の適正な発注に努めます。

プロジェクト6

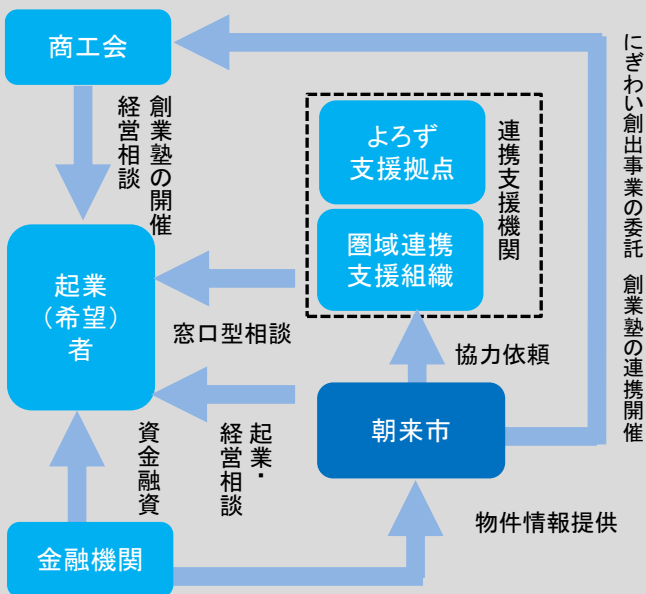
事業継続化プロジェクト



長年朝来市で事業を営んできた事業者が、事業を継続・発展させ、次代へスムーズに事業承継を進めるため関係機関(商工会、金融機関、市)が連携し、課題の解決に向けた支援を実施します。

プロジェクト7

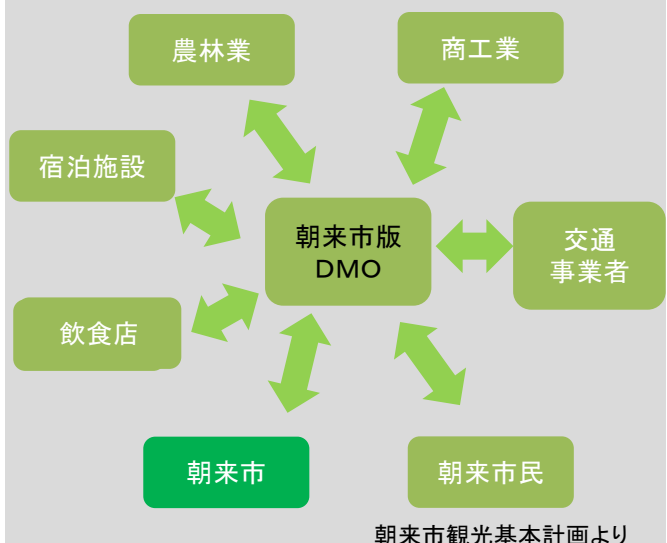
創業支援プロジェクト



あさご元気産業創生センターによる起業相談やにぎわい創出事業等により、空き屋・空き店舗を活用した新規出店を支援します。とりわけ、宿泊・飲食サービス業については、域際収支が3億円の黒字と少ないながらも、移輸出特化型ヘットした外貨を獲得する産業として重点的に支援します。

プロジェクト8

観光地経営プロジェクト

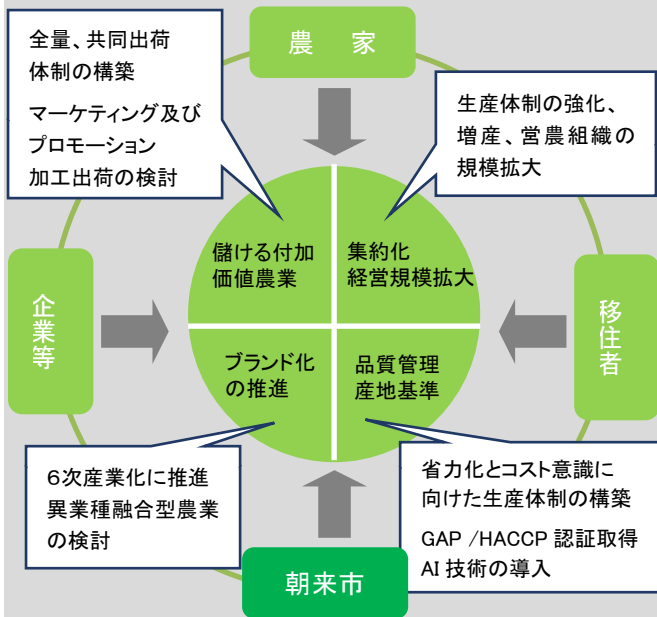


朝来市観光基本計画より

平成 24 年頃から竹田城跡への入込客数が急増したものの、宿泊・飲食サービスの生産額は、観光消費が反映されていない状況にありました。新たな観光資源の創出や「食」、「特産品」の開発を推進するとともに、訪日外国人需要の獲得に向けた誘客推進、キャッシュレス化などのサービスの向上を図ることで観光消費額の増加に努めます。

プロジェクト9

儲ける農業プロジェクト



継続性のある6次産業化への取り組み支援や若手農業者の活動を支援するとともに、次世代を担う農業者と小規模・高齢化している生産者の集約化により出荷体制等を見直すことで、新たな物流手段を構築し、儲かる農業のモデルを確立します。

時流に応じて進化と挑戦を繰り返しながら自立的な経済発展を目指す戦略のテーマ「進化・挑戦する メイド・イン・朝来」のロゴマーク



進化・挑戦する
メイド・イン・朝来

朝来市経済成長戦略(後期)の施策効果を示す指標

【朝来市経済成長戦略(後期)の施策効果を示す指標】

	基準値 (2018年)	目標値 (2023年)
市内事業所の雇用充足率 (経済成長戦略策定に係る基礎調査)	従業員の過不足状況が適正 49.2%	従業員の過不足状況が適正 60%
若手人材の確保や設備投資による労働生産性を確保すること等で「適正な従業員数を確保できた」とする企業の割合を約10%伸ばす。		

朝来市経済成長戦略(後期) 概要版

発行 朝来市(産業振興部経済振興課)

発行年月 平成31年3月

〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷213-1

電話 079-672-2816 / FAX 079-672-4041

ホームページ <http://www.city.asago.hyogo.jp/>